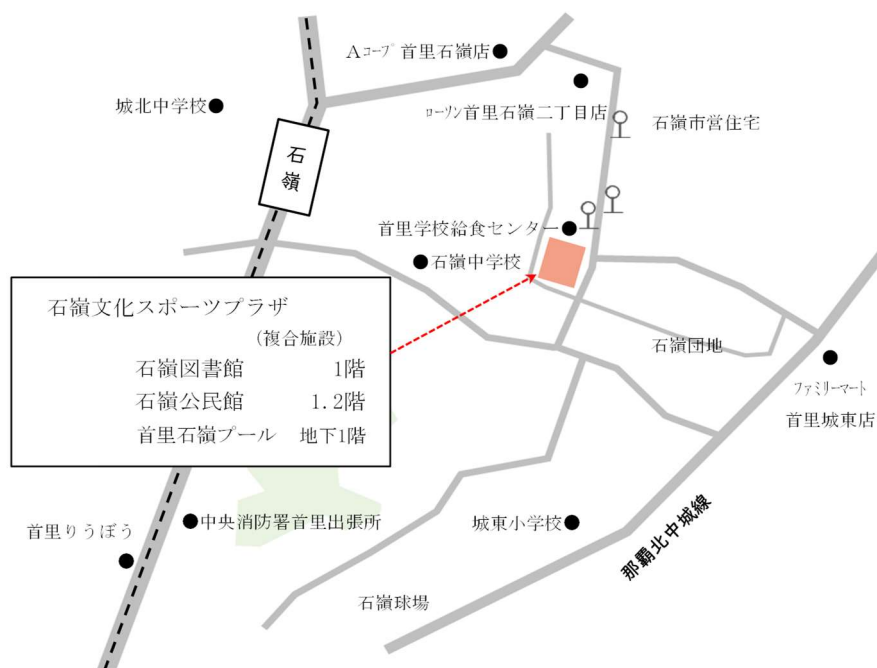


石 嶺 公 民 館

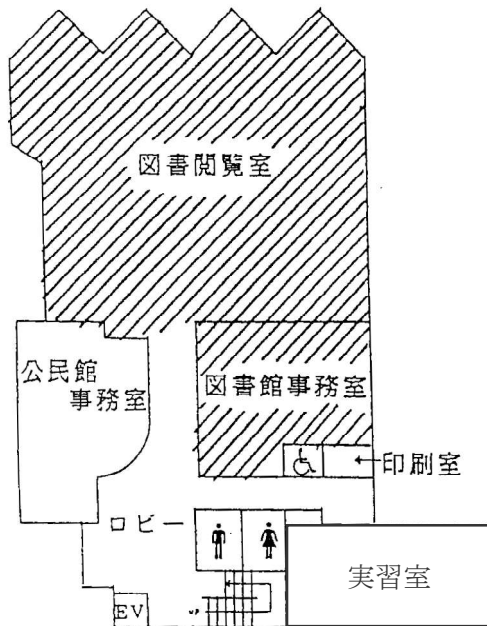


〒903-0804 那覇市首里石嶺町 2-70-9
TEL 917-3447 FAX 835-5102

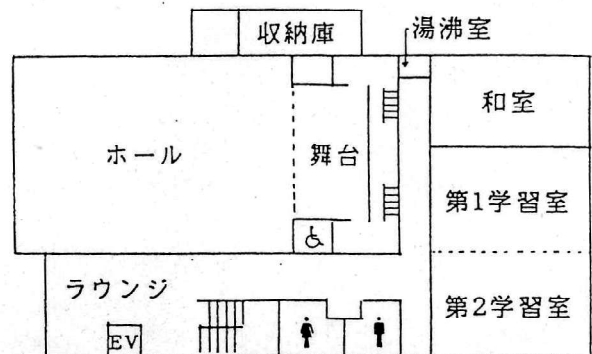
利用施設のご案内

〈石嶺公民館平面図〉

◆ 1 階



◆ 2 階



部 屋 名	利用可能人数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	200人程度	講演会・発表会・音楽会・映写会・レク体操・踊り・祭り・展示会等 (ピアノ・テーブル・イス等)
第1学習室	30人程度	会議・研修会・学習会・展示会等・映写会・お話し会(読み聞かせ)・玩具づくり・レクスポーツ等 (イス・テーブル・白板)
第2学習室	併用可 30人程度	
実 習 室	25人程度	調理実習・その他実習(イス・テーブル・調理用器具)
和 室	25人程度	お茶・生け花・ヨガ・健康体操等

I 石嶺公民館の沿革

「首里北地区に公民館・図書館を」という地域の人々の要請を受け、「社会教育施設整備計画」に基づく6番目の公民館として計画された当施設は、那覇市初の社会教育施設（公民館・図書館）と社会体育施設（温水プール・トレーニングルーム）の複合施設として、平成7年1月13日建設に着手、翌年8年3月15日に竣工した。地下1階、地上2階の建物で地下にプール・トレーニングルーム、1階に図書館・公民館、2階に公民館の学習施設が配置されている。

建設にあたっては2回の地域住民説明会を経て、地下水・深夜電力の利用等省エネルギーシステムの導入、地域環境づくりを考慮した緑地帯の確保、明るく開放的デザイン、出入口へのスロープ設置など幼児から高齢者、身体の不自由な方々まで誰もが利用しやすく、親しみやすい施設となるよう様々な配慮がなされている。

平成7年10月1日	石嶺公民館の発足に伴い、主査 前原信喜が発令された。
平成8年4月1日	館長 前原信喜が発令された。
6月1日	石嶺公民館、石嶺図書館、首里石嶺プール（愛称：石嶺文化スポーツプラザ）の開館式が行われた。
6月3日	利用団体・サークル等への公民館施設の提供が開始された。
7月15日～21日	開館を記念して「石嶺町文化まつり」（石嶺町文化まつり実行委員会主催）が開催された。
12月13日	石嶺公民館利用団体連絡会が発足した。
平成9年3月8・9日	第1回石嶺公民館まつりが開催された。
平成12年4月1日	館長 前原信喜配置替えにより、館長 仲田恵司が発令された。
10月23日	第53回優良公民館文部大臣表彰を受賞。
12月10日	優良公民館文部大臣表彰受賞祝賀会が開催された。
平成15年4月1日	館長 仲田恵司配置替えにより、館長 宮良毅が発令された。
平成16年4月1日	館長 宮良毅退職に伴い、館長 高里洋介が発令された。
平成17年1月27日	那覇市教育委員会石嶺公民館は沖縄県那覇警察署長より感謝状を表彰された。
平成17年4月1日	社会教育指導員1減
平成17年5月29日	石嶺公民館開館10周年記念チャリティーコンサートが行われた。
平成17年11月6日	石嶺公民館開館10周年記念講演会「琉球王国とアジアの交流」が行われた。
平成17年12月10日	石嶺公民館開館10周年記念式典・祝賀会が行われた。
平成18年4月1日	社会教育指導員1増
平成19年4月1日	館長 高里洋介配置替えに伴い、館長 下地敏雄が発令された。
平成20年4月1日	社会教育指導員1減
平成21年4月1日	館長 下地敏雄配置替えに伴い、館長 島袋和美が発令された。
平成26年4月1日	館長 島袋和美配置替えに伴い、館長 下地敏雄が発令された。
平成29年2月26日	石嶺公民館開館20周年記念式典・祝賀会が行われた。
平成29年4月1日	館長 下地敏雄退職に伴い、館長 島袋和美が発令された。
平成30年4月1日	館長 島袋和美退職に伴い、館長 真境名元作が発令された。
平成31年4月1日	館長 真境名元作配置替えに伴い、館長 奥濱真が発令された。
令和2年4月1日	館長 奥濱真配置替えに伴い、館長 前城一太郎が発令された。
令和5年4月1日	館長 前城一太郎配置替えに伴い、館長 大城義智が発令された。

Ⅱ 令和6年度石嶺公民館事業目次

1	学習風景（写真）	1 2 7
2	成人一般対象事業	
	〔1〕 市民講座	
	◇薬膳料理講座	1 2 8
	◇沖縄戦の戦災文化財から学ぶ沖縄の歴史と平和への想い	1 2 9
	◇防災 ～地域を知ることから～	1 3 0
	◇あなたの魅力を引き出すパーソナルカラー	1 3 1
	〔2〕 成人講座	
	◇～歌ごえ講座～懐かしい昭和の歌を唄おう	1 3 2
	◇心と体の健康ヨガ講座	1 3 3
3	高齢者対象事業	
	〔1〕 高齢者学級	
	◇ふくらしや大学	1 3 4
	◇初めてのスマホ体験講座①	1 3 5
	◇初めてのスマホ体験講座②	1 3 6
	◇スマホデビューからもう一步	1 3 7
	◇脳トレ「健康麻雀」講座	1 3 8
4	青少年対象事業	
	〔1〕 少年教室	
	◇想像力の翼を広げて自分の絵を描こう！	1 3 9
	〔2〕 青年講座	
	◇公民館を楽しく使ってみよう！ 学生が作る〇〇	1 4 0
	〔3〕 親子ふれあい教室	
	◇親子で防災まち探検	1 4 1
	◇親子で楽しくムービー作り	1 4 2
5	家庭教育事業	
	〔1〕 家庭教育学級	
	◇我が家のちんすこうづくり	1 4 3
	〔2〕 乳幼児学級	
	◇すくすくひろば ～パパママが楽しいと赤ちゃんも楽しい～	1 4 4
6	その他の事業	
	〔1〕 地域連携事業	
	◇こどもの居場所づくり「使ってみよう！ しまくとぅば」	1 4 5
	◇こどもの居場所づくり「懐かしい地域の白黒写真展」	1 4 6
	◇こどもの居場所づくり「夏休み特別企画」	1 4 7
	◇こどもの居場所づくり木の実でオリジナル表札づくり	1 4 8

◇新春もちつき交流会	1 4 9
◇ひやみかちいしんみウォーク	1 5 0
◇おもちゃ病院 in 石嶺公民館	1 5 1
◇こどものスバコ	1 5 2
◇フードドライブ+ (プラス)	1 5 3
◇Subako De Pantry (スバコでパントリー)	1 5 4
◇みんなの居場所 なかまんち	1 5 5
〔2〕こどもフェスタ	1 5 6
7 公民館まつり	1 5 7

1 学習風景



高齢者学級
「ふくらしや大学」



乳幼児学級
「すくすくひろば」



子どもの居場所
「使ってみようしまくうば」



親子ふれあい学級
「親子で楽しくムービー作り」



地域関連事業
「新春もちつき交流会」



高齢者学級
「脳トレ健康麻雀」

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		薬膳料理講座								
事業概要		沖縄にはクスイ（薬）とつく言葉が多く、沖縄食文化は昔から食べ物には薬膳性が求められると言われている薬膳料理を作ってみます。自分の体を食べ物や養生で整える方法も教えてもらいます。								
現状・課題		コロナ後、調理実習を行うことが少なくなっていたため、今後は料理に関する企画も徐々に増やしていきたい。人生100年時代。健康寿命を延ばすことの一助にしたい。								
事業目的 めざす姿		薬膳料理を学び、沖縄の食文化、薬膳料理の効能、及び健康について考える機会とします。実際に作ることで、日頃から薬膳料理を作るきっかけとなり、関心を持ってもらうことで、琉球料理传承人へ繋がっていくことも期待している。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員 12人 申込 15人 参加延べ 15人 【申込率125%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	5月28日(火)	10:00	～	12:00	石嶺公民館実習室	15	2	13	0
内容	01	季節の養生の講和 薬膳料理の歴史、効能について講和 料理を作る。（ゴーヤーウブシーとジーマーミ豆腐）2品 試食をしながら、琉球料理传承人の普及について講和 質疑応答 アンケート記入								
講 師		のひな 千明								
【講座の様子・感想】 4人1組1テーブルにグループ分けて料理作りを行いました。それぞれの工程を一生懸命こなしている姿が印象的でした。講師の講和に引き込まれ、休憩時間も講師に質問して、学びの姿勢がすごかったです。薬膳料理に関心を持っていることが伝わってきました。										
【成果】 受講生同士で役割を決めて教え合いながら楽しく料理を作り、時間通りに仕上げる事ができた。講師への質問も多く、関心の高さが伺えた。学んだ薬膳料理を家で作り健康維持を計りつつ、薬膳料理、琉球料理传承人へ興味、関心を持ってくれる機会になったと思う。仲間づくりにも繋がったようでした。										







2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		沖縄戦の戦災文化財から学ぶ沖縄の歴史と平和への思い								
事業概要		戦前戦後の白黒写真に思いを馳せながら、沖縄の歴史や文化について学びます。沖縄戦の戦災を逃れた戦災文化財を中心に平和について考える機会とします。								
現状・課題		戦争体験者、語りべも減っている現状があります。沖縄慰霊の日のタイミングに合わせて戦争を知らない人たちに「平和について」考える機会をつくることは重要だと考えます。								
事業目的 めざす姿		「戦災文化財」という新しい視点から「平和について考える」機会とします。戦争を知らない世代が増えてくる中、平和学習を継続的に開催していく必要があります。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員 30人 申込 25人 参加延べ 25人 【申込率83%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	6月22日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館	25	13	12	0
内容	01	石嶺と沖縄戦 沖縄戦の背景と特徴 沖縄戦と沖縄の文化財 沖縄戦から戦争直後の様子 琉球王国文化遺産集積								
講 師		崎原 恭子 (沖縄県立博物館美術館 主任学芸員)								
【講座の様子・感想】										
アンケートより抜粋：「文化財保護に務めた先人たちの努力が伝わってきた。文化財を通じた戦争の話で平和について学ぶことができたのは良かった。」「たくさんの鐘のお話に興味、関心が深まった。円覚寺、崇元寺、おきみゅー（沖縄県立博物館・美術館）を訪れたいと思います。」とありました。講座の様子としては、休憩時間も講師に質問をしている受講生が多かったのが印象的でした。										
【成果】										
平和について、今回は、戦争体験者の講和ではなく、視点を変えて「沖縄戦で被災した戦災文化財から平和について考える」講演会を企画しました。「文化財が保管されている沖縄県立博物館美術館へ行ってみます。」との声が多く聞かれ、受講生の関心の高さが伺えました。学習意欲を高める良い機会になったと思います。										

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

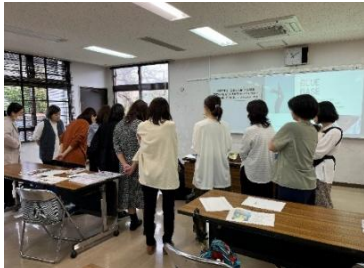
講座名 タイトル		防災 ～地域を知ることから～ 災害のリスクを学ぼう！								
事業概要		自然災害（地震、台風、豪雨災害）が起こったらどう命を守るか。防災の知識、具体的な備え、災害時の行動について学びます。								
現状・課題		昨今は、地震災害、豪雨被害が多発している。いざという時に備えるために、日頃から防災を意識した生活、防災の知識を高めることが重要だと考えられる。								
事業目的 めざす姿		災害に備えるために、地域の災害のリスクを知り、防災を意識した生活、防災の知識を高めながら防災力向上を目指します。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員 30人 申込 30人 参加延べ 27人 【申込率100%・参加率90%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	9月28日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館（ホール）	27	4	23	0
内容	01	防災アプリ、気象情報の活用、具体的な備えは！ 地域の危険箇所やリスクについて 防災食、防災グッズの展示 防災写真展								
講 師		源河 北斗（那覇市防災危機管理）								
【講座の様子・感想】 ・普段見聞きできない貴重なお話を聞くことができ勉強になった。ローリングストックの備蓄方法はとても良いと思う。 ・防災マップは、見たことがあるけど、それに説明がつくと、とてもわかりやすいです。スマホを使っていろいろな情報を普段から見ることで、いざという時に役立ちます。との感想がありました。										
										
【成果】 座学では、講師の説明は「具体例を上げながら分かりやすかった」と満足度が高かったです。展示コーナーでは、防災グッズを手にとり、何を準備しておけばいいのか、各々が考えるきっかけになりました。写真展では、防災訓練や避難所の写真を見ることで、さらに防災意識が高まり知識が深まったと思います。										
										

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

講座名 タイトル		あなたの魅力を引き出すパーソナルカラー								
事業概要		パーソナルカラーを知ること、自分自身の魅力を引き出し、日々の生活をより明るく、より楽しく送るための支援を行う。								
現状・課題		コロナ禍が緩和され、外出する機会が増えたことを機会に、自身の魅力を改めて認識し、明るい気持ちで日々を送るためのお手伝いをしていく。								
事業目的 めざす姿		日常生活の中で、相手に与える印象をよりよいものにすることで、自己肯定感を上げることができる。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員 15人 申込 15人 参加延べ 12人 【申込率100%・参加率80%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	12月7日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館第1・2学習室	12	0	12	0
内容	01	イエローベースとブルーベースの2種類について学習する。 グループごとに互いの合う色を探す。								
講 師		比嘉にいな (colorful & happiness 代表)								
【講座の様子・感想】 ・少し難しかったけど、楽しんで学べた。似合うかどうかを周りの方に見てもらいながらできて良かったです。 ・とても楽しかった。鏡があつたらもっと自分でも確認できて良かったと思いました。										
【成果】 ・自分の肌色に合った色を知ることができ、良かったという意見があった。会場で鏡を通して自身の姿を見ることができれば、もっと良かったという意見が多かった。 ・総合評価では、満足という回答が100%だったが、内容が少し難しかったという意見があり、講座内容の評価が67%となっていた。										







2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		～歌ごえ講座～懐かしい昭和の歌を唄おう								
事業概要		声を出して元気よく歌を唄うことは、体にとってとても良いことです。正しい発声法などを学習しながら、懐かしい昭和の曲を、一緒に楽しく健康的に唄います。								
現状・課題		コロナ禍が過ぎ、マスク着用の習慣が現在も続き、大きな声を出す機会が減った。また、大勢で歌を唄うことも少なくなった。								
事業目的 めざす姿		昭和の歌を唄い、当時の状況を思い出すことで、脳の活性化を促し、楽しんでみんなで唄う。								
対 象		那覇市内在住・在勤・在学で18才以上の人								
募集人数等		定員 20人 申込 43人 参加延べ 61人 【申込率215%・参加率71%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	10月18日(金)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	36	6	30	0
	02	10月25日(金)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	25	6	19	0
内容	01	【実践】正しい姿勢と正しい発声の練習								
	02	【実践】先生の演奏に合わせて歌を唄う								
講 師		池村真弓（歌声サークル講師）								
【講座の様子・感想】 ・生きがいづくりとして声、喉の鍛えとして大変良い。 ・楽しいひとときでした。 ・ずーっと待っていました。高齢者がますます元気になります。 ・歌うことはほんとに元気の元です。										
【成果】 ・申込人数が定員をだいぶ超えたため、定員以上の受講を許可した。 ・声を出して歌を唄う場を求めている方が多いことが分かった。 ・アンケート回答のうち70才以上が92%で、昔を懐かしみながら唄うことが楽しいということが分かった。										







2 成人一般対象事業

〔2〕成人講座

講座名 タイトル		心と体の健康ヨガ講座								
事業概要		正しい姿勢と正しい呼吸法を習得することにより、心と体のバランスを整え心身ともに健康になることを目指します。								
現状・課題		近年、多忙な日々を送る日常で、心と体のバランスを崩す人も増えてきている。そこで、心と体のバランスを整えることが、健康維持のために必要となってくる。								
事業目的 めざす姿		ヨガを体験することで、心・体・生活を正し、心身の調和をさせることで、健康的な日々を送ることを目的とする。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の18才以上の人								
募集人数等		定員 15人 申込 34人 参加延べ 49人 【申込率227%・参加率82%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	2月7日(金)	13:00	～	15:00	石嶺公民館ホール	14	2	12	0
	02	2月21日(金)	13:00	～	15:00	石嶺公民館ホール	13	2	11	0
	03	2月28日(金)	13:00	～	15:00	石嶺公民館ホール	11	2	9	0
	04	3月7日(金)	13:00	～	15:00	石嶺公民館ホール	11	1	10	0
内容	01	呼吸のリズムで意識を集中しながら、ヨガを楽しむ								
	02	力んだり、はずみをつけたりせず、ゆっくりと楽しむ								
講 師		我那覇 志津子 (日本総合ヨガ普及協会指導師)								
【講座の様子・感想】										
・ゆっくり自分のペースでできたので良かった。皆さんが明るく優しい雰囲気良かった。 ・初めての体験で、講師の分かりやすい説明等、大変良かった。 										
【成果】										
・アンケートにもあるように、ゆったりとした時間を共有できたと思う。 ・申し込みの人数により、ヨガの需要が高いことが伺える。 ・講座の開催時間が平日の午後ということで、全体の82%がシニア世代だったことから、夜の講座にしてみるのも世代の幅が広がると思った。 										

3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

講座名 タイトル		ふくらしや大学 「先人たちの築き上げた歴史や文化を肌で感じてみませんか。」								
事業概要		歩きながら歴史を探訪することで、楽しみながら健康の維持を図り、歴史に関心、興味をもってもらい学びを深める機会とします。受講生同士の交流を深めながら仲間づくりに繋げ、健康で潤いのある生活をおくるための一助とします。								
現状・課題		コロナ過もあり、外へ出かける機会も少なくなってしまった高齢者の人たちに、興味、関心を持ってもらい、外へ出かけるきっかけを作ります。								
事業目的 めざす姿		歴史探訪、歩くことで、健康の維持を図りつつ、歴史への興味、関心をそそぎ、学習意欲を高めます。同世代の交流を深める機会となり、仲間づくりに繋がります。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員 20人 申込 25人 参加延べ 75人 【申込率125%・参加率75%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	11月9日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	22	9	13	0
	02	11月14日(木)	10:00	～	12:00	壺屋～やちむん通り ～牧志公設市場	16	6	10	0
	03	11月16日(土)	10:00	～	12:00	石嶺地域	17	7	10	0
	04	11月21日(木)	10:00	～	12:00	久茂地・牧志	20	7	13	0
内容	01	座学：琉球王国時代にあった8つの手わざ								
	02	実践：壺屋焼物博物館～やちむん通り～公設市場～まちまーい								
	03	実践：いしみね歴史まちまーい								
	04	実践：牧志・久茂地まちまーい								
講 師		伊禮拓郎、玉那覇善秀、外間政明								
【講座の様子・感想】 那覇の街の裏通りを初めて歩いた受講生は、興味、関心を持って、2時間を元気に歩き通した。「無関心で通り過ぎていた地域の歴史に心動き、あらためて知ることができた」と満足そうでした。お互いに語り合いながら「歴史まちまーい」を大いに楽しんでくれた。										
【成果】 高齢者が、外へ出かけるきっかけになった。歴史や文化について興味を持ち、学習意欲が増すことで生涯学習へ繋がっていく。歩く楽しみも出来て、健康維持、意識も高められた。同世代の交流の場になり、仲間づくりにもなった。										

3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		初めてのスマホ体験講座①								
事業概要		デジタル化が加速する中、スマホを持っていない方や、スマホに興味があるという方へ向け、実際にスマホを触り、スマホの楽しさや便利さを体感し、デジタル社会へ向けての支援を行う。								
現状・課題		デジタル化していく社会の中で、あらゆる情報入手や社会参加をすることが困難になってきている高齢者が増えつつある。行政や地域の病院なども、DX推進傾向という現状にあるため、高齢者が取り残されないよう、支援していく必要がある。								
事業目的 めざす姿		スマートフォンがデジタル社会へ参加する一つのツールとして、使用することの便利さと、楽しさを実感し、参加者の今後の生活に役立てることを目的とする。								
対 象		那覇市在住・在勤の60才以上の人								
募集人数等		定員 20人 申込 20人 参加延べ 18人 【申込率100%・参加率90%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	4月26日(金)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	18	5	13	0
内容	01	貸出機を使用し、実際にスマートフォンを触り、体験学習をする。								
講 師	金城 貴則、又吉 岐吏子（スマホアドバイザー〈ソフトバンク株式会社〉）									
【講座の様子・感想】 ・時間がもっと必要だと思った。スマホのアドバイザーの存在について初めて知りました。 ・今すべて娘に頼っているので、一人でできるようにしたい。友達から早くラインしようと言われている。今日は本当にありがとうございました。来て良かったです！！										
【成果】 ・1回だけの体験講座だったため、物足りなさはあったと思う。 ・講師のサポートが手厚かったことから、総合評価では94.1%から「良かった」と評価された。										





3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

講座名 タイトル		初めてのスマホ体験講座②								
事業概要		デジタル化が加速する中、スマホを持っていない方や、スマホに興味があるという方へ向け、実際にスマホを触り、スマホの楽しさや便利さを体感し、デジタル社会へ向けての支援を行う。								
現状・課題		デジタル化していく社会の中で、あらゆる情報入手や社会参加をすることが困難になってきている高齢者が増えつつある。行政や地域の病院なども、DX推進傾向という現状にあるため、高齢者が取り残されないよう、支援していく必要がある。								
事業目的 めざす姿		スマートフォンがデジタル社会へ参加する一つのツールとして、使用することの便利さと、楽しさを実感し、参加者の今後の生活に役立てることを目的とする。								
対 象		那覇市在住・在勤の60才以上の人								
募集人数等		定員 80人 申込 59人 各回20人				参加延べ 50人 【申込率74%・参加率63%】				
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	6月26日(水)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	10	3	7	0
	02	7月10日(水)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	13	2	11	0
	03	8月14日(水)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	14	2	12	0
	04	9月10日(火)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	13	3	10	0
内容	毎回	貸出機を使用し、実際にスマートフォンを触り、体験学習をする。								
講 師	金城 貴則、又吉 岐吏子（スマホアドバイザー〈ソフトバンク株式会社〉）									
【講座の様子・感想】										
・聞きたい事はあっても店への敷居が高く感じていた。まずどのキャリアにするかも決められなかったが、関係なく相談出来る事を知れてとても良かった。 ・初めて講座を受けましたが、電話しか使用していなかったもので、いろいろなことが学べてとても良かったです。 										
【成果】										
・それぞれの回ごとに申込受付をし、同じ内容で毎月開催をしたが、申込から開催するまでの期間が短かったためか、参加人数が少なかった。 ・少人数での講座となったが、総合評価評価では92%から「良かった」と評価された。 										

3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		スマホデビューからもう一歩								
事業概要		スマホは持っているけれど、電話・メール程度しか利用していないという方のために、もう一歩使えると便利な機能、ラインや防災アプリなどの体験学習を行う。								
現状・課題		デジタル化していく社会の中で、あらゆる情報入手や社会参加をすることが困難になってきている高齢者が増えつつある。行政や地域の病院なども、現状DX推進傾向にあるため、高齢者が取り残されないよう、支援していく必要がある。								
事業目的 めざす姿		スマートフォンがデジタル社会へ参加する一つのツールとして、使用することの便利さと、楽しさを実感し、参加者の今後の生活に役立てることを目的とする。								
対 象		那覇市在住・在勤の60才以上の人								
募集人数等		定員 20人 申込 20人 参加延べ 18人 【申込率100%・参加率90%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	11月12日(火)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	18	5	13	0
内容	01	貸出機を使用し、実際にスマートフォンを触り、体験学習をする。								
講 師	又吉 岐吏子（スマホアドバイザー〈ソフトバンク株式会社〉）									
【講座の様子・感想】										
・シニアレベルに合わせてゆっくり丁寧に、優しく教えていただいて、良かったです。 ・講師の説明が分かりやすく、聞きやすかった。アドバイザースタッフもフォローが良かったです。										
										
【成果】										
・ソフトバンクのスタッフの人数が大勢だったことから、個別に丁寧な対応をしてもらえたという意見が多かった。 ・内容の進め方もゆっくりで、わかりやすかったとのこと。 ・防災について便利なサイトやアプリなどを開き、実際に体験した皆さんは興味深く説明を聞いていた。										
										

3 高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

講座名 タイトル		脳トレ「健康麻雀」講座								
事業概要		近年、脳の活性化や認知症予防など頭脳ゲームとして注目されている麻雀。基礎的なことを教えてもらう初心者向けの「健康麻雀」です。「脳トレ」にもなるということでシニア、女性にも親しみやすいゲームとなっています。								
現状・課題		認知症のリスクが高くなっていく高齢者を対象に、認知症予防、脳トレ効果が期待できる「健康麻雀」を学ぶ機会とします。								
事業目的 めざす姿		社会的に関心度が高まっている脳トレ「健康麻雀」。高齢者の認知症予防と、コミュニケーションツールとして仲間づくりに繋げる目的があります。								
対 象		那覇市在住・在勤の60才以上の人								
募集人数等		定員 20人 申込 24人 参加延べ 42人 【申込率120%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	10月19日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	21	15	6	0
	02	10月26日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	21	15	6	0
内容	01	1回目：基本的な麻雀のルールや初級の役の作り方を学びます。								
	02	2回目：実際に麻雀牌（パイ）を使い4人卓で囲みながら実践形式で学びます。								
講 師		白銀 紗希 （プロ雀士 段位：4段）								
【講座の様子・感想】 ホワイトボードを使ってルールや基本的な説明があり、実際に麻雀の牌（パイ）に触れて実践形式で進められました。講師は、レベルチェックしながら卓を移動してアドバイスを行っていました。「初めて麻雀をやった。脳トレというだけに少しわかりづらかったけど楽しかった。」などの感想があった。受講生が楽しみながらやっていたのが、とても印象的でした。										
【成果】 今回の「健康麻雀」は「ギャンブル」というイメージから全くチェンジして別ものの「楽しいイメージの麻雀」講座になりました。コミュニケーションツールとして、仲間づくりに繋がりました。認知症予防、脳トレ効果が期待できる「健康麻雀を継続して学びたい」との声が多く、講座からサークルへ移行し、月4回、毎週金曜日に楽しく活動を続けています。										







4 青少年対象事業

〔1〕少年教室

講座名 タイトル		想像力の翼を広げて自分の絵を描こう！								
事業概要		それぞれの個性を活かし、楽しく絵を描く「コツ」と基本的な知識を学び、自由な絵を完成させましょう。そこで、子どもたちの完成を高め、絵を描くことの楽しさ、知識の習得を目指します。								
現状・課題		夏休みには子供たちの宿題の一つである絵画を、講師より専門的な知識を学び、個性を活かした絵を仕上げる。								
事業目的 めざす姿		子どもたちの個性を活かした、自由な絵を描くことを目的とする。								
対 象		那覇市在住・在学の小学生（低学年は保護者同伴）								
募集人数等		定員 15人 申込 17人 参加延べ 17人 【申込率113%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	7月25日(木)	9:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	17	3	14	0
内容	01	果物の見本を見ながら下書きをする。 色塗りをして仕上げる。								
講 師		池宮城友子（日本画家・絵画講師）								
【講座の様子・感想】 ・スミをつけた小筆でなぞるのが難しかった。 ・細かく塗るところが難しかった。 ・見ながら描くことが難しかった。										
										
【成果】 ・アンケートからもうかがえるように、下書きを墨汁のスミでなぞることが、子どもたちにとっては、少し難しかったようである。 ・子どもたちのアンケートでは、楽しかったという回答が94%、参加したいという回答は81%だった。										
										

4 青少年対象事業

〔2〕青年講座

講座名 タイトル		公民館を楽しく使ってみよう！ 学生がつくる〇〇 in 石嶺公民館								
事業概要		公民館の利用が少ない青年層に公民館を知ってもらう機会とします。第1回目は、学生（高校生・大学生）たちが講座の企画から、開催までのプログラムに取り組んでもらいます。								
現状・課題		公民館の利用者は大半が高齢者です。若い世代にもっと公民館を知ってもらい、楽しく利用してもらうための講座やイベントを考える必要があります。								
事業目的 めざす姿		1回目は若い世代に参加したくなる講座やイベントを企画してもらいます。2回目に企画したイベントを実際に開催します。企画から開催までのプロセスを体験することで、やりがいや、達成感を感じることが出来ます。継続して公民館を「楽しく使ってもらおう」ことを目指します。								
対 象		那覇市在住・在学の高校生・大学生								
募集人数等		定員 10人 申込 10人 参加延べ 10人 【申込率100%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	11月24日(月)	13:00	～	15:00	第1・2学習室	10	3	7	0
内容	01	公民館のイメージは？ 公民館ってどんなところ？ 若い世代が参加したくなる企画を考えよう！ 目的・効果（人、地域にどんな効果があるといい？） 引き寄せられるようなタイトルを考えよう！								
講 師		スバコ（不登校児の支援事業団体）								
【講座の様子・感想】 大学生たちは、時間（15分）を決めて各自のイベント案を考えました。参加してほしい対象（誰に参加してほしい）や目的・効果など、具体的に発表してくれました。「若い世代に限らず、みんなが公民館に行きたくなるような企画を考えよう」ということになりました。										
										
【成果】 「公民館ってどんなところ？」まずは知ってもらう機会になりました。1階はコミュニティーの場、ふらっと立ち寄れる場所。2階は市民のやりたいこと、学びたいことが学習できる場所であると理解が深まりました。今回は、地域のニーズや情報をもっと知ることが必要があるという事で意見がまとまり、次回に企画を決めることになりました。企画、開催に向けて次回の集まりが楽しみです。										
										

4 青少年対象事業

〔3〕親子ふれあい教室

講座名 タイトル		親子で防災まち探検								
事業概要		親子で一緒に地域を歩き、危険な場所、避難所や避難所意外に役立つ場所、避難ルートの確認など、防災を意識したまち探検を行います。いざという時に役立つ防災マップも作成します。								
現状・課題		昨今は、地震、豪雨被害などが、身近に起きていることから、自分の住んでいる地域の危険な場所や避難所として役立つ場所、避難ルートの確認をすることが重要だと考えます。								
事業目的 めざす姿		親子で防災を意識したまち探検をすることで、共通の情報を得る事ができます。実際に歩くことで、危険な場所がわかり、安全な避難ルートの確認をします。避難所意外に役立つ場所を見つけることで、より安全な場所へ避難ができます。また災害時に役立つ防災マップを作ります。								
対 象		那覇市在住・在学の小学生とその保護者（祖父母可）								
募集人数等		定員 20人 申込 18人 参加延べ 13人 【申込率90%・参加率72%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	8月17日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館・近隣	13	4	9	0
内 容	01	親子で一緒に地域を歩き、危険な場所、避難所や避難所以外に役立つ場所、避難ルートの確認などを行います。その情報を元に防災マップを作成します。								
	02	災害が起きた時に慌てず行動ができるように役立てます。								
講 師		宮道 喜一 (助手：上原 利公、奥原 和明)								
【講座の様子・感想】 親子は「この場所危ないね～」「こんな所に小さい公園がある～避難できそう」など会話をしながら丁寧にメモを取っていました。児童のアンケートでは、「危険な場所が多く怖く感じた。」「被害が1番少ない町にしたい」とありました。保護者からは、「親子で一緒に歩いたことがない場所が多くて地域を知る良い機会になり、貴重な体験になりました。」との声が多く聞かれました。										
【成果】 防災を意識したまち探検、いろいろな視点から確認をすることで、情報や知識をより多く、深く知る事ができたのではないでしょう か。各々の家庭で作成した防災マップを活用することで災害時の避難行動がスムーズにいくことが期待できる講座となりました。										







4 青少年対象事業

〔3〕親子ふれあい教室

講座名 タイトル		親子で楽しくムーチー作り～沖縄伝統行事にふれてみよう～								
事業概要		沖縄の伝統行事のムーチーの由来を学び親子でムーチー作りを体験します。講座を通して伝統行事の継承を図るとともに、親子のコミュニケーションを更に深め、よりよい親子関係の形成を目指します。								
現状・課題		忙しい日々を送るご家庭が多く、なかなか親子で一緒に何かを作るという機会がないことから、講座を通して親子の時間を作り、何かを成し遂げるということの楽しさを実現する。								
事業目的 めざす姿		親子のコミュニケーションを深めることと、沖縄の伝統行事を楽しく体験することを目的とする。								
対 象		那覇市の小学生とその保護者（祖父母も可）								
募集人数等		定員 8組 申込 8組				参加延べ 8組 【申込率100%・参加率100%】				
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	1月25日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館実習室	18	5	13	0
内容	01	ムーチーについての講話 ムーチーの作り方の説明 親子でムーチー作り 蒸している間、絵本の読み聞かせ ムーチーが出来上がり								
講 師		那覇市社会教育指導員OB会								
【講座の様子・感想】 ・季節の伝統行事について親子で学べて良かった。待ち時間の読み聞かせも、子ども達がしっかり話を聞いて、退屈しないように工夫されていて良かった。 ・子どもが作りやすく、難易度がちょうどよかった。分量を図っていただいたので、効率が良かった。蒸している間の読み聞かせも良かった。										
【成果】 ・親子で協力し仕上げていく工程を、コミュニケーションを取りながら作業することで、家族間の関係をより良い時間にできたのではないかと思います。 保護者のアンケートでは、内容、理解度、総合評価とも満足度100%だった。										







5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

講座名 タイトル		我が家のちんすこうづくり								
事業概要		沖縄の伝統菓子の一つである「ちんすこう」を簡素化して作る方法を教えてもらいます。沖縄の伝統菓子に触れ興味、関心を持ってもらう機会とします。ちんすこうづくりを通して親子間のコミュニケーションを深めながら、より良い親子関係の形成を目指します。								
現状・課題		コンビニなどで、レンチン料理などが手軽に買えたりと便利になったこともあり、「親子で一緒に料理やおやつなどを作る」手作りの良さを感じる事が少なくなってきたと感じます。								
事業目的 めざす姿		伝統菓子に興味、関心を持ってもらう機会とし、料理を作る楽しさ、手作りの良さを学びます。今回は伝統菓子の一つ「ちんすこう」を作ります。親子で一緒に料理を作る機会を増やして、親子間のコミュニケーションを深めながら、より良い親子関係の形成を目指します。								
対 象		那覇市在住・在学の小学生とその保護者（祖父母可）								
募集人数等		定員 20人 申込 18人 参加延べ 13人 【申込率90%・参加率72%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	10月5日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館実習室	13	4	9	0
内容	01	テーブルに2組（親子4人）で座ってもらう。 講師・助手の紹介 指導員OB会より自己紹介（4人） 作る工程を説明、レシピの配布 ちんすこう作り 焼き上げまでの時間を利用し伝統菓子について講話								
講 師		那覇市社会教育指導員OB会								
【講座の様子・感想】 子供たちは、大好きなちんすこうを簡単に作れると喜んでいました。オリジナルのちんすこう（アンパンマンなど）も作りました。オリジナルは焼き上がりに時間がかかり、子供たちが心配そうにオーブンレンジを見つめている様子が微笑ましくも感じました。										
【成果】 子どもたちに人気のお菓子「ちんすこう」を、簡素化して作る方法を教えてもらいました。「家で作れる」「手作りができる」と好評でした。講座で終わらず、それぞれの場所で、親子でコミュニケーションを深めながら、楽しく料理やおやつを作るきっかけになったと思います。										





5 家庭教育事業

〔2〕乳幼児学級

講座名 タイトル		すくすくひろば～パパママが楽しいと赤ちゃんも楽しい～								
事業概要		子育て奮闘中のパパとママへ、楽しんで子育てができるよう、日ごろの悩みや不安を共有し、心とからだの健康維持を目指します。								
現状・課題		子育て中は、感染症などを考慮し、外出を控える傾向があるので、日ごろの悩みや情報の共有をする場が少なくなる。また、これからの子育てを楽しむために、パパとママのリフレッシュをすることも大切である。								
事業目的 めざす姿		子育て中の夫婦の悩みを話し合い共感することで、不安を解消する。また、日頃の疲れを解消するため、体を動かし音楽を楽しみ、子育てをする上で心に余裕とゆとりを持つ時間を作れるよう支援を行う。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学で4か月～1才6か月の乳幼児をもつ夫婦とその子供								
募集人数等		定員 15組 申込 14組 参加延べ 12組 【申込率93%・参加率86%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	9月7日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	16	6	10	0
	02	9月21日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	27	10	17	0
	03	9月29日(日)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	15	7	8	0
	04	10月6日(日)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	12	5	7	0
内容	01	・心とからだのほぐし方								
	02	・イライラをぐっと減らすマネジメント								
	03	・リトミック&音楽を楽しもう								
	04	・ミニトランポリン								
講 師		古堅裕子（色彩コミュニケーション「色ひろば」代表）・仲宗根純子（ヨガインストラクター）・金城実佳（マザーコーチング認定シニアティーチャー）・金城まみ子（フルート奏者）・松本恵美（リトミック講師、ピアノ講師）・比嘉美和（健康運動実践指導員）・川村花代（ミニトランポリンインストラクター）								
【講座の様子・感想】										
・子育てで夫婦じっくり向き合う時間を持ちづらいので、託児してもらい様々なことを体験したり、学んだりできて、とても楽しかったです。 ・いろんなことがあって楽しかったです。トランポリンが一番楽しかったです。										
										
【成果】										
・初めの2回はパパとママの交流の回として、後半はリラックスと体を動かすことを予定していたが、台風で日程の変更があり、講座全体の流れが崩れてしまったことが残念。 ・父親の参加率は41% 										



6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		子どもの居場所づくり 「使ってみよう！ しまくとうば」								
事業概要		「しまくとうば」を使ったことがない世代へ楽しく学んでもらう「しまくとうば」講座です。マッチングゲームや音読劇を体験し、沖縄の文化に触れる機会とします。								
現状・課題		若い世代が、「しまくとうば」を知らない、使えない人たちが多くなっている現状がある。「しまくとうば」を保存し、次世代へ繋げることは重要な課題となっている。								
事業目的 めざす姿		日常生活の中で「しまくとうば」を使って会話をするきっかけをつくる。「しまくとうば」の啓蒙啓発、普及を目指し、次世代へ繋げる。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員 30人 申込 25人 参加延べ 25人 【申込率83%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	7月27日(土)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	25	13	12	0
	02	7月28日(日)	10:00	～	12:00	第1・2学習室				
内容	01	なぞなぞ、マッチングゲーム、音読劇（大きなかぶ）								
	02	カード釣り、ジェスチャーゲーム、音読劇（はらぺこあおむし）								
講 師		中川 信子（沖縄県文化協会しまくとうば普及センター）								
【講座の様子・感想】 夏休みの居場所づくりで開催したので、子どもたちの参加が多かったが、親子で一緒に参加してくれる方もいました。ゲーム、音読劇など楽しみながら「しまくとうば」を学んでいました。音読劇では少し緊張気味でしたが、それぞれの役をしっかりと「しまくとうば」で話すことができていました。皆さん満足げの様子でした。										
【成果】 「しまくとうば」を知る、学ぶことで、日常生活の中で「しまくとうば会話」を楽しむきっかけづくりになりました。「しまくとうば」に興味、関心を持ってもらう機会となり「しまくとうば」の普及、継承に繋がっていくことの一助になれば幸いです。										





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		子どもの居場所づくり 「懐かしい地域の白黒写真展」								
事業概要		石嶺写真展を開催します。懐かしい石嶺地域の様子、移り変わりを地域に長年住んでいる高齢者から教えてもらいます。また、日頃交流する機会の少ない石嶺児童園の子供たちを招待し、交流を深める機会とします。地域交流の場、地域づくりに繋がります。								
現状・課題		団地の増築や新築マンションなどにより、住民が増えてきている石嶺地域。しかしながら、お互いを知らないということも多くなっていると聞きます。出会いをとおして、お互いを知る、コミュニケーションを深める機会が必要になってきている現状があります。								
事業目的 めざす姿		石嶺地域の移り変わりについて地域をよく知る高齢者から教えてもらいます。地域の歴史や、住民同士がお互いを知るきっかけをつくり、多世代間の交流の場とします。地域に愛着を持ってもらうことで、安心、安全なまちづくりへと繋がります。								
対 象		那覇市在住・在勤・在学の人								
募集人数等		定員なし 参加延べ 22人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	8月21日(水)	10:00	～	12:00	石嶺公民館 第2学習室	22	9	13	0
内容	01	* 地域の人や石嶺写真館から写真を提供してもらいます。 * パネルや、机に写真を掲示して写真展を開催します。 * 地域をよく知る人たちから話を聞きます。 * 質問や回答をもらいながら、互いに交流を深める機会とします。								
講 師		金城 真徳（北翔会顧問） 玉城 俊光（北翔会会長）								
【講座の様子・感想】 児童のアンケートから「見慣れない景色の中に今の面影も見えるところが不思議な感覚だった」とありました。講師の方の説明に熱心に聞き入っている様子が印象的でした。										
										
【成果】 写真の対比で比べるとできるので、子供たちにも分かりやすかったようです。地域への引っ越してきた人、昔から住んでいる人、児童園の子供たち、それぞれが交流を深める良い機会になりました。人を知るきっかけになり、安心、安全なまちづくりへ繋がっていくことでしょう。										
										

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		こどもの居場所づくり 「夏休み特別企画」								
事業概要		学校の長期休み期間中、地域団体と連携し、こどもたちが安心して過ごせる場所を提供します。								
現状・課題		こどもたちが安心して過ごす場所がだいぶ減ってきていることと、地域とのふれあいも希薄になっていることが課題である。								
事業目的 めざす姿		気軽に來ることができる公民館で、安心して過ごす時間を地域の方々と共有する。								
対 象		那覇市在住・在学の小中高生								
募集人数等		定員なし 参加延べ 129人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	8月6日(火)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	49	－	－	0
	02	8月13日(火)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	37	－	－	0
	03	8月20日(火)	10:00	～	12:00	石嶺公民館ホール	5	－	－	0
	04	7月26日(金)	13:00	～	16:30	石嶺公民館和室	3	－	－	0
	05	8月2日(金)	13:00	～	16:30	石嶺公民館和室	0	－	－	0
	06	8月9日(金)	13:00	～	16:30	石嶺公民館和室	16	－	－	0
	07	8月16日(金)	13:00	～	16:30	石嶺公民館和室	8	－	－	0
	08	8月23日(金)	13:00	～	16:30	石嶺公民館和室	11	－	－	0
内容	01	ホール：アニメ上映会 和室：学習ひろば								
講 師		城東小まちづくり協議会、石嶺図書館								
【講座の様子・感想】										
										
【成果】										
・アニメ上映会では、石嶺図書館の協力で読み聞かせを開催することができた。 ・高校生ボランティアが、小学生の夏休みの宿題を一緒に取り組んでくれたことが、子供たちにとっての夏休みの思い出となったと思う。 										

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		子どもの居場所づくり 「木の実でオリジナル表札づくり」								
事業概要		普段気にも止めない木の実に触れ、捨ててしまう野菜の種など、アイデア、工夫で新しい世界が生まれます。エコナクラフトづくりを通して、楽しみながら、地球温暖化対策、SDGsを考える機会とします。								
現状・課題		地球温暖化沸騰とも言われる地球環境。「エコなクラフトづくり」をとおして楽しみながら、地球温暖化について学ぶ機会にする。								
事業目的 めざす姿		自然をより身近に感じ、環境には配慮した生活を考える（SDGs）エコなクラフトづくりを体験します。地球温暖化対策を考える機会とします。								
対 象		那覇市在住・在学の小学生								
募集人数等		定員 15人 申込 16人 参加延べ 16人 【申込率107%・参加率100%】								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	7月30日(火)	10:00	～	12:00	石嶺公民館 ホール	16	4	12	0
内容	01	1人用の材料キットを事前に準備。 受講生は好きなキットを選んで購入。 テキストを見ながら表札づくりを行う 講師、助手の先生がサポートしながら各テーブルを見回る。								
講 師		上原 敦子（アトリエクライス講師）								
【講座の様子・感想】 キットの材料を使って楽しみながら時間内にたくさんの木の実で表札を仕上げていました。受講生は、キットで物足りないのか、材料の木の実、野菜の種を先生から追加でもらいながら表札づくりに夢中になっていました。										
										
【成果】 講師の先生が事前にキットを準備、各テーブルを講師と助手がサポートしたおかげで受講生全員が時間内に仕上げることができました。地球温暖化対策、SDGs、についても学ぶ機会になりました。材料に、普段は気にも止めない木の実や、捨ててしまう野菜の種を使って、エコな環境に配慮した生活を心がけるクラフトづくりに取り組みました。										
										

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		新春もちつき交流会								
事業概要		新しい年を迎え親子、新成人、地域で楽しく交流するとともに、参加者の健康を祈願しながらおもちをつきます。								
現状・課題		地域で活動されている団体との交流を深めるため、石嶺小学校区まちづくり協議会、那覇市社会教育指導員OB会、石嶺中学校区成人式実行委員会、石嶺公民館利用団体を本イベントを通し、より良い関係を深める。								
事業目的 めざす姿		もちつきを通して地域との交流を図る。								
対 象		石嶺地域在住の子どもと保護者他								
募集人数等		定員なし 参加延べ 300人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	1月11日(土)	10:00	～	11:30	石嶺公民館ホール	300	150	150	0
内容	01	・オープニングイベント（三線サークルいしんみ・石嶺小合唱団） ・もちつき交流会								
講 師		石嶺小学校区まちづくり協議会、那覇市社会教育指導員OB会								

【講座の様子・感想】



【成果】

多くの石嶺地域の方が参加され、石嶺中学校区成人式実行委員会の方々もボランティアでお手伝いに来てくれたので、とても盛り上がり、子ども達も美味しそうに、もちを食べていました。



6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		ひやみかち いしんみ ウォーク ～ 楽しく歩こう！ おなかを満たそう！！ ころも晴れやか！！～								
事業概要		講師によりウォーキングの効能、正しい歩き方をレクチャー、ウォーミングアップしスタート。希望者には袋を配布し、ゴミ拾いしながら歩いてもらう。ゴールしてクールダウン。飲み物、軽食等を配布し飲食しながら相互交流してもらう。個別のウォーキング相談コーナーも設ける。								
現状・課題		肥満率が高かったり、心疾患率の高さなど健康度割合の低さが指摘される現状。現役世代の運動不足も課題としてある。 また子どもの貧困率の高さも課題である。								
事業目的 めざす姿		ウォーキングイベントを通し運動習慣への動機づけとする。 またイベントで飲料、軽食等を提供しフードパントリーの周知も図る。								
対 象		どなたでも								
募集人数等		定員 100人 申込 75人 参加延べ 57人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	1月26日(日)	9:00	～	12:00	石嶺公民館駐車場	57	-	-	-
内容	01	レクチャー、ストレッチ、ウォーキング、ゴミ拾い、クールダウン、軽食、交流								
講 師		高良 順子 他								
【講座の様子・感想】 ・日頃運動する機会がないので良かった。良いリフレッシュになった ・ゴミ拾いしながら、おしゃべりしたりして、たのしくすごしました。 ・歩きやすいコースで、とても楽しく活動できました。 ・アンケート結果（満足度）97.5%										
【成果】 ・楽しく歩けた、軽い運動になった、リフレッシュできた、などの感想があり、運動の機会提供になった。 ・飲料や軽食の提供も喜んでもらいフードパントリーの周知につながった。 ・1歳くらいの子から80代の方まで多世代の方の参加があった。										







6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		おもちゃ病院 in 石嶺公民館								
事業概要		壊れたり、動かなくなったりしたおもちゃを修理する場を設けるため、那覇市石嶺公民館がおもちゃ病院 in 那覇のおもちゃドクターと協働でおもちゃ病院を開設、運営する。								
現状・課題		消費社会の現代はおもちゃも簡単に手に入り、使い捨ての現状もあり、物を大切に する心やおもちゃへの愛着心、豊かな情操を育みづらい。								
事業目的 めざす姿		壊れたり動かなくなったりしたおもちゃを修理し、また動くようにすることは、物 を大切に する心やおもちゃへの愛着心、豊かな情操を育み、子供の成長に大きく寄 与する。								
対 象		どなたでも								
募集人数等		定員なし 参加延べ 146人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	毎月 第2日曜日	10:00	～	15:00	石嶺公民館ロビー	146	-	-	-
内容	01	おもちゃの動作確認、点検、修理								
講 師	おもちゃ病院 in 那覇のおもちゃドクター 4人									
【講座の様子・感想】 アンケートを取っていないため満足度等の集計はできないが、月平均12件、18個の受付があり非常に需要が高く、喜ばれている。										
【成果】 1年間で146件、216個の受付があり、多くの方に必要とされている実感がある。 おもちゃを修理する手元を観察する子どもたちの目の輝きや、直ったおもちゃを大事そうに抱えて帰る子どもたちを見ると、子供たちの成長に貢献していると感じる。										





6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		こどものスバコ								
事業概要		学校に行きづらい子や放課後の居場所に困る子どもたちの安全、安心に過ごせる場を提供する。								
現状・課題		学校へ行けない子が多い現状の中、子どもの居場所の少ない首里石嶺地区で子どもたちが楽しく過ごせる居場所づくりが求められる。								
事業目的 めざす姿		子を持つ親の情報交換、癒しの場、交流の場づくりと、子どもたちの学ぶ場としての可能性も探り、安全に安心して過ごしなが、他者と関わりながら育つ、大切な居場所の一つとする。								
対 象		那覇市内のこども、子を持つ親								
募集人数等		定員なし				参加延べ 1242人				
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	毎週水曜日	13:00	～	18:00	石嶺公民館実習室	1242	-	-	-
	02	毎週月曜日	13:00	～	18:00	石嶺公民館実習室		-	-	-
内容	01	軽食の提供、宿題の手伝い、eスポーツ、ボードゲーム、卓球、話し相手								
講 師		Co- ,fellowship volunteer								
【講座の様子・感想】 アンケートを取っていないため満足度等の集計はできないが、平均19人ほどの子が来て、多いときは30人を超える子どもたちが参加している。思い思いに宿題をやったり、軽食を食べながらおしゃべりしたり、ボードゲームや、テレビゲーム、工作など好きな活動を行い過ごしている。 月曜日の回は8月より実施										
【成果】 3月19日現在で67回の開催、子どもの参加1,242人、保護者などの参加110人があり、子どもたちは活発に活動し、保護者の交流もあり、有意義な場となっている。										







6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		フードドライブ+ （プラス）						
事業概要		那覇市社会福祉協議会と協働し、家庭やお店などで余っている食品等の寄付を募り、生活が困窮している市民に対し緊急措置として一時的に食料品等を提供する。						
現状・課題		子どもの貧困解消が課題として注目されている中で、フードバンク等を設置する必要性は高い。						
事業目的 めざす姿		那覇市社会福祉協議会と協働し、常設のフードバンク等を設置し家庭等での余剰食品等の寄贈を受け、困窮世帯等へ食料品等を提供することにより地域の共助の力を育む。						
対 象		どなたでも						
募集人数等		定員なし 参加延べ 284人						
日時 場所	回	期日	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン	
	01	随時	公民館事務所前	284	-	-	-	
内容	01	食料品、生理用品、日用雑貨、子供用品等の受け入れ。それらの提供。						
講 師		無し						
【講座の様子・感想】 3月末現在で284件の寄贈があり一日平均2個以上の寄贈があった。内容も食品からミルク、子供服、おもちゃなど多種多様な品目があった。								
								
【成果】 定期的な寄贈があり、市内のフードバンクの中でも寄贈数が多いらしく、那覇市社会福祉協議会からも数回の礼状をいただいた。								
 								

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		Subako De Pantry （スバコでパントリー）								
事業概要		助成金やフードバンク、寄付等を活用し、食料や生活物資の調達に困難を抱える家庭へ支援を行う。								
現状・課題		子どもの貧困解消が課題として注目されている中で、フードパントリー活動で困窮家庭へ支援する必要性は高い。								
事業目的 めざす姿		助成金やフードバンク、寄付等を活用し、食料や生活物資の調達に困難を抱える家庭へ支援を行い、子供の成長、生活の安定への援助を行う。また、その活動を子どもたちに手伝ってもらうことにより、活躍の場を作り、充実感、自己肯定感の向上へつなげる。								
対 象		石嶺周辺在住の子育て世帯								
募集人数等		定員なし 参加延べ 409人								
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	毎月第2土曜日	14:00	～	15:00	公民館実習室	409	-	-	-
内容	01	食料品、生理用品、日用雑貨、子供用品等の受け入れ。それらの提供。								
講 師		無し								
【講座の様子・感想】 月平均60世帯ほどの物品受け取りがあり、親子で来場した子どもたちの笑顔が印象的である。 毎回数人のお手伝いに来る子どもたちも、物品搬入、陳列、ポップアップ作成等を手伝い、意識向上になっている。										
										
【成果】 7か月ほどの活動で409世帯への支援につながった。 手伝っている子どもたちにとっても自己肯定感の充実につながった。										
 										



6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

講座名 タイトル		みんなの居場所 なかまんち								
事業概要		子どもたちに食事を提供し、おなかを満たすとともに、遊び場の提供、子ども同士の交流、他の家庭との交流など居場所づくりを行う。								
現状・課題		コロナの影響や物価高騰により、子どもの貧困問題が更に深刻になっている。								
事業目的 めざす姿		コロナの影響や物価高騰により、子どもの貧困問題が更に深刻になっている中、親の失業等で困窮している世帯に限らず、食の提供と、健やかな成長を見守り、地域との交流等、誰もが、安心して過ごせる「みんなの居場所」を目指す。								
対 象		子どもと親子								
募集人数等		定員 20人				参加延べ 81人				
日時 場所	回	期日	開始	～	終了	実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	毎月 第4土曜日	14:00	～	15:00	公民館実習室	81	-	-	-
内容	01	食事支援。遊び場の提供。見守り。学習支援。								
講 師		無し								
【講座の様子・感想】 月平均27人の子どもたちが来場し、おなかを満たした。										
										
【成果】 3か月の活動で81人の子どもたちに来てもらった。 子どもたちの数が徐々に増えてきているので、満足度向上につながる。										
										

6 その他の事業

〔2〕 こどもフェスタ

講座名 タイトル		こどもフェスタ							
事業概要		子どもたちに食事を提供したり、体験型ゲーム、テレビゲームなどで遊んだり、服の無償提供を行う。							
現状・課題		沖縄の子どもの貧困率の高さの現状や、子どもの居場所の少ない石嶺地域の課題がある。							
事業目的 めざす姿		子どもたちが楽しめる場を提供するだけでなく、プチデパートのような形でお腹も心も満たし、楽しめる場にすることで、子どもたちに夢のような一日を過ごせる場を提供することを目的とする							
対 象		中高生を含む子どもたち							
募集人数等		定員 200人				参加延べ 250人			
日時 場所	回	期日	開始 ～ 終了		実施(集合)場所	参加人数	男性	女性	オンライン
	01	3月23日(日)	11:00 ～ 16:00		実習室・ホール・学習室	250	-	-	-
内容	01	ワークショップコーナー・ゲームコーナー 子ども食堂 テレビゲームコーナー 洋服無償提供コーナー							
講 師		無し							
【講座の様子・感想】 多くの子どもたちに来場してもらい、食事の無料提供、服の無料提供、ゲームなどを楽しんでもらった。									
【成果】 約250人の子どもたちの来場があった。食事の提供、服の無料提供やゲームを楽しんでもらうことにより、石嶺地域にこのような企画や場所があり、取り組む大人がいることへの認知につながった。 かかわった団体 一般社団法人 Team SUBAKO、 石嶺中25期～石嶺もり上げ隊～、 美ら組、 子ども食堂ならぬ子ども服屋 替 (sui)									

7 公民館まつり（第29回）



環境コーナー



こども広場



ゲームコーナー



社交ダンスパーティー



展示部門



ハーブ販売・レクチャー



舞台部門



ミニライブ

令和6年度
第29回

石嶺公民館



2/15(土)

こどもひろば

- 10:00 オープニングエイサー
10:15 人形げき・大がた絵本
・トランポリンたいけん
・フェルト作り・さどやん
・ゲームコーナー



軽食広場ライブ

11:00~15:00

- ・いんやく りお
- ・クラウンきらら
- ・KINA ShioN
- ・マーヴェリック
- ・ゲームコーナー



ハーブ苗販売

10:00~

ハーブでプレスレット作り
※苗はなくなり次第終了

社交ダンス パーティー

17:00~19:00
(リハーサル 16:00~)



2/16(日)

舞台発表

12:30~16:00

舞踊、三線、太極拳、
大正琴、吹奏楽、フラダンス、カラオケ、他
プログラムは裏面にございます。



環境コーナー

11:00~

自転車発電たいけん
(エネルギー発電方法を
学べるよ)



2/15(土)~2/16(日)



軽食コーナー

11:00~

※売り切れ次第終了



《1日目メニュー》

- ・カレー ・そば
- ・サターアンダギー
- ・アガラサー
- ・ホットコーヒー etc

《2日目メニュー》

- ・牛すじ丼
- ・イナムドゥチセット
- ・ムーチー
- ・ミニそば etc



展示発表

10:00~16:00

書道、俳句、
手工芸 他



主催：石嶺公民館利用団体連絡会 那覇市石嶺公民館 協力：石嶺図書館 那覇市社会教育指導員OB会 石嶺町旗頭保存会
北翔会 石嶺町伝統エイサー会 那覇市環境政策課 石嶺小学校区まちづくり協議会 城東小学校区まちづくり
協議会 首里第三民生委員児童委員協議会 石嶺図書館読み聞かせボランティアの会 スパコ

【お問合せ】 石嶺公民館 917-3447